

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

令和7年度 第4回理事会 議事録

開催日時：令和7年10月23日（木）18時15分～19時15分

開催場所：久美愛厚生病院検査科 Web 併用（Zoom）

出席者：岡村、山口、酒井、澤野、森本、市川、渡邊、荻谷、上野、建部、中島、林、
高橋、森（栄）、安藤、森（幸）、倉家、前田、帖佐、服部、日比

欠席者：中尾、小西、乾、菊地

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】 [岡村会長]：資料配布済み

以下の資料内容について確認をお願いし、一部内容に補足説明を行った。

- ① 日本臨床一般検査学会より、スキルアップ講習会終了の報告（お礼）について
- ② 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ③ 日臨技より、【日臨技表彰事業】各賞候補者の推薦について
- ④ 日臨技より、「特定細胞加工物の微生物学的安全性に関する指針」について
- ⑤ 中部圏支部学会について（進捗状況）
- ⑥ 学術部報告 20251023
- ⑦ R7日臨技第3回理事会報告

2. 事務職員冬季賞与について [岡村会長]

一般社団法人岐阜県臨床検査技師会 パートタイム職員就業規則の（賞与および退職金）第22条において12月に賞与を支給、1.毎年6月10日および12月10日に支給する。（支払日が休日に当たる場合はその前日）支給金額は理事会にて定める。

上記規定に基づき検討した。

冬季賞与支給金額を144,000円とする。

なお、査定理由として勤務形態変更により平均24,000円の減収となった。この金額を補填することを目的とした。

*以上の内容について、全員一致で可決承認された。

3. 日臨技表彰事業について [岡村会長]（資料③関連）

地域貢献賞につき、兼子徹元会長を推薦した。

4. タスクシフト状況 [岡村会長]

2026.2.8（日）岐阜医療科学大学（11/8受付開始）にて開催。

今回、大病院職員による大人数での申し込みがあったため開催を決定した。関係会員への周知をお願いしたい。

5. 拡大研修会のあり方について〔岡村会長〕（常務理事会報告事項）

拡大研修会は、これまで開催されてきた個々の部門研修会での参加人数が少なく、集客力を上げる目的で実施することになった経緯がある。

会費を減額したこと、事務所も賃貸となって毎月の支払が出てきていること、各研修会も活発になってきたこと、研修会スタッフの経費を増額したこと、今後、減額した会費を元にもどすことは難しいこと等から支出を下げる方法を考える中で、会場費の削減や研修会の助成金の利用増加を行っているが、今後は拡大研修会について廃止を含め検討することにする。

今後の拡大研修会のあり方について学術部で各部門に調査することになった。

6. 「国民医療を守るための総決起大会」への参加依頼について（医師会）〔岡村会長〕

医師会より5人程度の参加者を要請された。

期日：11月20日（木）14：00～15：00

場所：岐阜県医師会1階大会議室（サテライト会場）又はYouTubeでの視聴。

*会場（岐阜県医師会）は工事中のため乗り合わせでの参加を要望。

日当、交通費は技師会にて負担する。

参加可能な人はメールにて申し出てもらい、人数が満たない場合は個別に相談させていただくことにする。

7. 日臨技報告（資料⑦関連）〔菊地参与〕（代理岡村会長）

資料（R7年度 日臨技第3回理事会報告）の配布のみ

8. 中部圏支部医学検査学会進捗状況 10月時点〔山口副会長〕（資料⑤関連）

1. 決定事項について

<開催日>

2026年10月31日（土）～11月1日（日）

（2025年8月13日開催届承認済）

<会場>

長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）

<テーマ>

メインテーマ：「臨床検査の“力”で未来を拓く」

サブテーマ：～技術力・連携力・応用力・人間力・創造力～

<実行委員>

- ・ 学会長：森本剛史（松波総合病院）
- ・ 副学会長：菊地良介（岐阜大学医学部附属病院）
- ・ 副学会長：長屋 麻紀（岐阜県総合医療センター）
- ・ 実行委員長：帖佐光洋（修文大学）
- ・ 副実行委員長：乙訓貴之（岐阜医療科学大学）
- ・ 副実行委員長：酒向俊孝（東海細胞研究所）
- ・ 事務局長：山口明彦（中部国際医療センター）
- ・ 副事務局長：直井晶子（JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院）
- ・ 会計：苅谷美里（澤田病院）
- ・ 学術：石田秀和（岐阜大学医学部附属病院）
- ・ 広報：林敦司（メディック）
- ・ 会場：上野嘉彦（岐阜大学医学部附属病院）
- ・ 展示：川出真由美（松波総合病院）
- ・ 情報交換会：福岡 玲（岐阜県総合医療センター）

< イベント委託会社 >

「B-D00 コミュニケーションズ」

< 学会ポスターデザイン >

決定済（別紙）

< 実行委員会について >

第1回 5月7日、第2回 7月16日、第3回 10月6日にすべて Web で行った。

2. 今後の活動について

- ① 予算書作成：2026年1月に日臨技提出に向け作成中
- ② 企画書作成：2026年1月に日臨技提出に向け作成中
- ③ 協賛金募集について：協賛企業との協賛金交渉のため2025年11月を目途に趣意書作成
- ④ 三重県での中部学会視察について：メンバー選定し視察予定（現在11名を予定）
ブースを設けて当学会のPRを行う予定

3. 県内会員向けのPRとして日臨技一斉メールを活用することにした。ポスターの紹介やスタッフの紹介、学会準備の進捗状況などをこまめに配信する。担当は学会実行委員会が担うことになった。学会への機運が高まることを期待する。

各事業部からの報告

【学術部】[森本部長]

1. 研修会終了報告

- ・ 第2回生理部門研修会：9月13日、WEB開催、定員100名、71名参加

参加費無料、（予算）6,900 円（岐臨技負担：6,900 円）

- ・第 2 回血液部門研修会：9 月 27 日、現地開催（実技）、定員 20 名、22 名参加（実務委員を含む）、参加費無料、助成金の範囲内で実施（岐臨技負担：0 円）

2. 行事承認の件について

- ・生物化学部門研修会：

12 月 20 日（土）、岐阜医療科学大学にて開催、定員 24 名

内容は、マイクロピペットの精度管理について、マイクロピペットの操作手技

参加費無料、予算 20,900 円（講師等）（岐臨技負担：20,900 円）、助成金申請なし

- ・病理部門研修会：

11 月 30 日（日）、岐阜大学医学部附属病院にて開催、定員 9 名

内容は、細胞検査士 2 次試験対策

参加費無料、予算 38,000 円（講師等）（岐臨技負担：4,080 円）、助成金申請あり

* 以上の内容について、賛成多数で承認された。

【広報宣伝部】[市川部長]

- ・ホームページ上の企業のバナー広告について

ホームページバナー広告（年間 36,000 円）の募集を予定しており、メーカーに趣意書を発送する。今年度同様に最低 5 社は募りたい。年内に広報誌の発行予定であり、三重学会報告、拡大研修会報告、県学会案内、2026 中部学会の紹介などを企画。

【精度管理事業部】[渡邊部長]

- ・精度管理調査が終了、2 次サーベイ実施 C・D 判定の病院は最終的に数件となった。

精度管理総括集を発行予定（12 月）、掲載用挨拶文を会長へ依頼する。

（山口副会長）今後の総括集の必要性（金額も考慮の上）について

（岡村会長）精度管理部門では、試薬単価、参加費用、医師会の受託料等の見直しを含めて、総括集の見直しも検討してはどうか。

【渉外部】[荻谷部長]

* 公益事業について

- ・平成 26 年に一般社団法人として移行申請した際の公益目的財産を公益目的支出計画に基づき、計画的に公益事業に支出させるもので、毎年 県知事宛に公益目的支出計画実施報告書等を提出している。（渉外部長の業務）
- ・申請時の公益目的財産は 13,367,094 円であり、毎年 1,093,368 円ずつの減（公益目的支出）の計画で、年間計画上の完了見込みは令和 9 年 3 月となっている。
- ・公益事業には、・学会・研修会事業（県学会、拡大研修会）・健康イベント事業（各種健康まつり）があり、法人全体の会計と公益事業の収入・支出をまとめて、報告してい

る。この会計報告が赤字になっても構わない。しかし、近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学会・健康イベント事業を縮小・中止したことで、計画より大幅な経費減となっており、令和6年度末の計画公益目的財産残額1,340,046円に対し実績公益目的財産残額3,134,621円と実績残額が多く、完了見込は延長が予想される。

- ・経費削減目的での拡大研修会廃止を検討している事に関し、公的事業ではあるが会の財政健全化に対しては有効と思われる。
- ・また、現状赤字予算案で行われている公共事業は公益目的支出計画が終了した場合には各事業での収支を考えた予算案が必要となる。

【組織調査部】〔澤野部長〕

*岐阜県臨床検査技師会 検査と健康展について

日時：令和7年12月7日（日）10時から15時 8時30分集合 16時00分散

会場：イオンモール大垣 1階 太陽の広場

参加者：40名

・臨床検査の体験

身近にある生活用品をエコーで見よう

体内臓器を細胞まで見よう（臓器病理標本観察）

人間の臓器の位置を知ろう（人体模型パズルで体験）

疑似尿による尿検査（模擬尿を用いての尿定性検査）

ポスターを用いた血液検査の説明と顕微鏡を用いた細胞の観察

健康モニタリング装置を用いたヘモグロビン測定

手洗いチェック（ブラックライトを用いて洗い残しチェック）

生活習慣チェック（体内糖化度測定）

検査装置の仕組み（化学発光を見よう）

認知症・物忘れチェック（物忘れプログラムを用いた認知症チェック・ニンテスト）

輸血検査を知ろう（献血促進）

遺伝子検査を知ろう

・臨床検査技師になるために 臨床検査技師養成校の学生・先生にきいてみよう

・医師による健康相談 午前と午後で臨床検査専門医会の先生2名で担当

・リーフレット、パンフレット、景品の配布

・予算：収入計 509,000円（助成金500,000円、岐臨技負担9,000円）

支出計 509,000円

*以上の内容について、賛成多数で承認された。

【会計部】〔乾部長〕

欠席のため次回まとめでの報告

【庶務部】〔日比部長〕

・特になし

各地区からの報告

【岐阜地区】

＊令和7年度拡大研修会進捗報告

【日時】11月30日（日）10：00～15：30

【会場】OKB ふれあい会館

・企画内容

【テーマ】移植

血液検査部門と輸血細胞治療部門との合同開催、運営岐阜地区で執り行う。

学術講演 1. 血液検査部門として、横山能文先生（岐阜市民病院 小児科）による「小児科領域における造血幹細胞移植～非腫瘍性疾患に対する移植を中心に～」また、学術講演 2. 輸血細胞治療部門では、中村信彦先生（岐阜大学医学部附属病院 第1内科）による「造血幹細胞移植の進歩と輸血・細胞治療部門の役割」の講演。

市民公開講座は、長森幼稚園副園長の足利 真貴先生と長森幼稚園教諭の堀井 優梨香先生の講演。足利先生はソプラノ歌手としても活躍されており、堀井先生はピアノ奏者としても活躍されている先生。

・予算案

【収入】

日臨技助成金	50,000 円
参加費 80 名予定	80,000 円
広告料 10 社予定	100,000 円
ランチョン 2 社	100,000 円
岐臨技負担金	91,580 円
収入総額	421,580 円

【支出】

支出総額	421,580 円
内) 印刷費	38,100 円（企業の希望で紙媒体での広告）

＊以上の内容について、全員賛成で承認された。

【中濃地区】

特になし

【西濃地区】

- ・次期岐阜県医学検査学会について、演題募集および座長の協力依頼が出された。

【東濃地区】

特になし

【飛騨地区】

特になし

その他

- ・特になし

以上

議 長	岡村 明彦	
議事録署名人	帖佐 光洋	
議事録署名人	服部 充延	

